

## ビオトープでホタル観賞

稲沢の「アイコクアルファ」整備



「いこいの広場」で (アイコクアルファ提供)

稲沢市祖父江町の自動車部品製造「アイコクアルファ」が今月初め、会社近くに整備したビオトープで、初めてのホタル観賞会を開

いた。近くに住む家族連れらが訪れ、幻想的なホタルの光を楽しんだ。同社は水田にホタルが飛び交っていた昔の風景を取

り戻そうと、昨秋に完成させた「いこいの広場」の中にビオトープを整備。今春初めて、ヘイケボタルの幼虫計千四百匹を放流した。

観賞会は一、四日に実施。参加者はホタルを驚かせないように、静かに見守った。初日に訪れた領内小学校二年の黒木晴月君(七)は「ちっちゃいけど、強く光っていた。初めて見られてうれしい」と喜んで

社員は、育った成虫がビオトープ内に卵を産み、自然繁殖するようになることだ。担当者は「エサのタニシも育ち、環境は整いつつある。もっと多くの人に見に来てもらえる、立派なビオトープにしたい」と話した。

(寺田結)

「この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています」